

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No.119
平成20年2月7日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

ICT環境の整備と活用

ICT: Information and Communication Technologyは、日本語では「情報通信技術」と訳されています。様々な情報 (Information) をやりとりする (Communication) ための技術 (Technology) という意味です。通常、ICTというと、コンピュータに代表されるデジタル機器を用いた情報を扱う技術を指しています。

学校でも、これまでたくさんのICT機器が整備されてきました。パソコン室や教室、職員室のパソコン、デジタルカメラやプリンタなどが思い浮かびます。

ICT環境が整備されるのは、それらを使うことで、授業は、より「わかる授業」になり、校務の効率や効率が上がり時間のやりくりがしやすくなることで、より子どもたちとかがかわる時間をもてるようになる、といった、ICT活用によるメリットを享受できるようにするためです。子どもたちや先生方のコンピュータスキルを上げるためにある、というわけではないのです。

ICTを使っていくには、やはりどうしてもそれなりのスキルは必要で、初めは慣れるまで少し手間はかかりますが、その後のことを考えれば、ICTを使えるようになるための少々の手間を惜しんでいたのでは、たいへんもったいないことです。

見ようによっては、小手先のスキルのように見えても、覚えて使っていくうちに、なくてはならないスキルになってきます。こういったことを積み重ねていくことで、整備されたICT環境を、より快適に、便利に使って、授業に、教室に、校務に更により環境作りにつなげることができます。

また、スキルだけでなく、導入されたシステムの活用も同様です。使ってみなければ、使い勝手はわからず、どこが便利で、どこは使いにくいのか、そして、どう直せば使いやすく役に立つシステムになるかもわかりません。

日頃の業務をこなすことで、日々たいへんお忙しい中に、次々と新しく環境が押し寄せてくるわけで、いちいち対応している余裕がないかもしれませんが、その余裕を生み出すための環境導入です。環境の整備は、使ってなんぼ、なのです。

特に、ICT環境は、初めに使うときは、思い切りが必要かもしれませんが、使って慣れれば必ず、何らかの時間的気分的余裕と、明確な効果をもたらします。

是非、ここで思い切って使ってみませんか？

こちらが助けになると思います。

『教員研修Web総合システム TRAIN』

<http://train.nime.ac.jp/>

小学校でのパソコン授業

<http://yamabuki.yokochou.com>